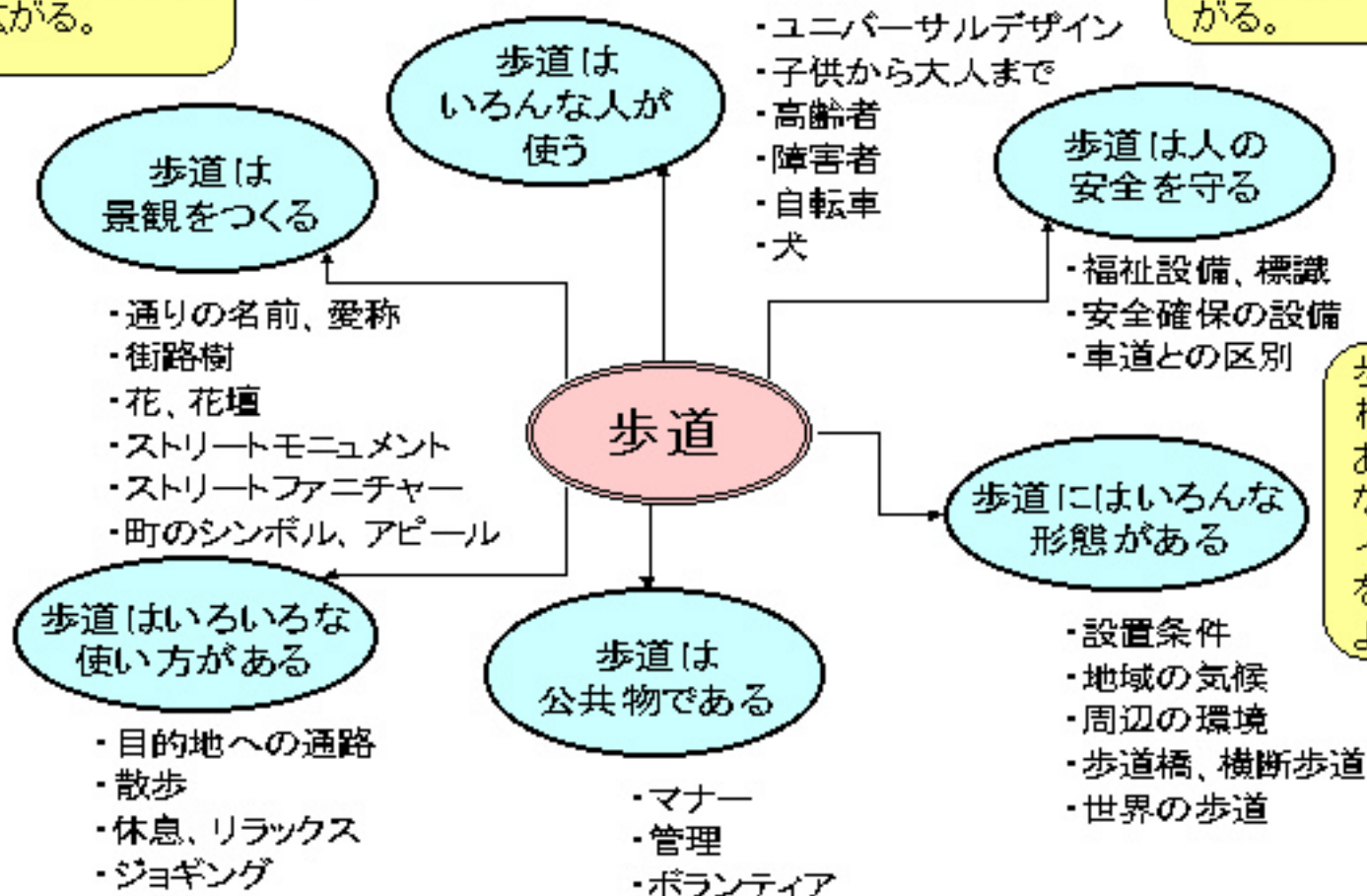


実際に歩道を歩いて
見つけていく方が視
野が広がる。

登下校時や家から出かけた時に、どんな
人が歩いているか意識するよう促すこと
でもかなりの気づきが可能である。

普段見逃していたことを意
識化するために実際に歩
道を歩くことで気づきが広
がる。



歩道を歩いて
わかることも
あるが、役所
などの取材や
インターネット
を利用すると
よい。

登下校時にも、どんな人が歩いて
いるか意識するよう促すことで
かなりの気づきが可能である。

植樹升はだれが管理しているか、歩道の
ごみはだれが始末しているのかなど子どもの
疑問から追究を深めていくとよい。